

千葉大学医学部附属病院で肝門部胆管狭窄と診断された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年4月11日

消化器内科

消化器内科では、肝門部胆管狭窄に対する新規 pig-tail 型インサイドステントに関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に診療情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2024年10月1日～2025年12月31日までに当院で肝門部胆管狭窄に対して新規 pig-tail 型インサイドステントを留置された患者さんの診療情報を収集します。

1. 研究課題名

「肝門部胆管狭窄に対する新規 pig-tail 型インサイドステントの臨床成績に関する後方視的検討」

2. 研究期間

2025年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究は、当院において肝門部胆管狭窄に対して内視鏡的に新規 pig-tail 型インサイドステントを留置された患者さんを対象に、その治療成績や安全性について後方視的に検討することを目的としています。

肝門部胆管狭窄は、良性・悪性を問わず黄疸や胆管炎の原因となる重要な病態であり、内視鏡的胆道ドレナージが広く行われています。本研究では、診療録に記載された情報をもとに、ステント留置の成功率や治療後の経過、再閉塞の有無やその時期、有害事象の発生状況などについて解析を行います。

なお、本研究は通常診療の範囲内で得られた情報を用いるものであり、患者さんへの新たな検査や治療は行いません。

4. 研究に用いる情報の種類

本研究では、診療録から以下の情報を収集します。

- 年齢、性別などの基本情報
- 原疾患や胆管狭窄の原因に関する情報
- 血液検査などの臨床検査結果
- CT や MRI などの画像検査所見
- 内視鏡治療の内容（ステントの種類や留置方法など）
- 治療後の経過（症状の改善、有害事象の有無、再閉塞の有無およびその時期、再介入の内容など）
- 予後に関する情報（生存状況など）

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：消化器内科 講師 大山広

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院消化器内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

消化器内科 講師 大山広

043（222）7171 内線5241